

# 金沢 ~ 舞鶴

1989年 11月 10, 11, 12 日 1泊3日

費用 43,507-

走行距離 255km

ロトルサ 使用.



## 行程

11月10日(金) 前橋市 — 急行降参 — 金沢市

11月11日(土) 金沢市 —————> 小浜市

11月12日(日) 小浜市 —————> 舞鶴市(電車) —————> 前橋市

\*\*\*\*\*  
 \*\* チャリンコ旅日記 No.19 \*\*  
 \*\* Resistance Of My Mind 19920615 \*\*  
 \*\*\*\*\*

【 1989年11/10日から12日 金沢市 から 舞鶴市 255Km 】

【 11月10日(金) 】 曇り 走行距離 0 Km  
 前橋駅 → 高崎駅 → 金沢駅 走行時間 0分

20:55	自宅 出る	フィルム、電池	¥773-
21:35	前橋駅 輪行完了	金沢往復	¥13180-
22:06	出る	手回り品	¥260-
22:49	高崎駅 出る	ビール、ジュース	¥400-
	急行能登		

夜行急行で移動する辛さもこれで最後だろうと想いながら、高崎駅のホームで急行能登を待っていた。冬が来る前に、何とか日本海側を走り終えてしまいたい。ほんの数日前に、時刻表で電車を調べて、いざ出発日。夜8時に帰宅して、1時間で荷物の用意をして、親の言う事も聞かずに家を出てきた。

この夏に山陰で野宿を経験して、自転車の旅に慣れて自信ができたのか、凄い実行力。自分でも凄いと思っている。何時の間にこんな力が備わったのか？ ただ、“いい加減になった。”と言う事も出来る。今、自由に気ままに、“ちょっと、行ってくるから”と言う感じで、旅立てる事が嬉しい。旅の心に近づいて来たのかも知れない。

22時49分、高崎駅1番ホームから急行能登に乗る。時期はずれの為、車内はすいていて座席に座る事が出来た。しかも、長野駅に着いた時には、乗客も半分位に減ってしまい、ゆったりと座席に座っていたが、やはり椅子は寝づらい。夢うつつの内に時の経つのを待って居る。

【11月11日(土)】 晴

走行距離 221Km

金沢市 → 加賀市 → 敦賀市 → 小浜市 走行時間 10時16分

5:49	金沢駅着 キツネ川、トモゾエス	12:05	越前村 かかー ¥700-
	雨上がり バン ¥400-	23	出る
6:37	出る		料金所 ¥20-
7:41	後輪パンク	56	休み ジュース ¥100-
	パンク修理剤注入	13:00	出る
50	出る	41	料金所 出口 ¥90-
8:32	加賀観音 晴	14:12	休み ジュース ¥100-
38	出る	19	出る
56	加賀市役所前 道に迷う	30	敦賀市内 味ビタンD ¥134-
9:07	休み オムライス、ジュース	37	出る
20	出る ¥350-	15:49	休み アイ ¥100-
10:10	東尋坊 快晴 紅茶 ¥100-	56	出る
40	出る	16:53	小浜駅 ビジネスホテル ¥4640-
	ラッキョの花の、紫の絨毯。		夕食、ビール、食料 ¥3630-

金沢駅、4回目の金沢駅。まだ薄暗く、雨雲が契れて東の空を漂っている。駅前のタクシーの運転手に小松市への道を尋ねて、雨上がりで濡れている道をはねを気にしながら走り出す。天気は快復に向かっているらしく、晴れ間が多くなっている。自転車も人も調子が良くフロント\*42、リヤ\*15のギアで快調にペダリングしている。ところが、1時間程して小松市に入ったら後輪のタイヤがパンクしているらしい。空気が少しづつ抜けて、路面の凹凸を感じる様になった。休んで、タイヤを見ると、ガラス片が食い込んでいた。パンク瞬間修理剤を使用して、たった3分で修理完了。

加賀市の手前から右手に金色の観音様を遠くに見ながら走る。加賀市内で少し道に迷ったが無事に東尋坊に到着。天気はすっかり快晴になり、日本海の荒波にそそり立つ東尋坊の岩波の景観を楽しんだ。北陸の地は、今、ラッキョの花が盛りで、防風ネットを張り巡らした道の脇の広い砂地には、一面に紫色の小さな可憐な花が咲き誇っていた。自転車で走りながら、“いったいあの花は何なんだろうか？”と思っていたが、農作業をしていた老人に尋ねたら、“あれは、ラッキョだよ。”と教えてくれて、花まで摘んでくれた。リュックの中に花を入れたが、今ではもうない。

今日は、敦賀を過ぎて小浜まで来る事が出来た。途中、栄養剤を飲んだりしていたが、夕方5時前に到着。ホテルで、500mlのビールを2本飲んだが、何故か今日は酔えない。

旅の記録帳に何故か“ダックスフント”の文字が記されている。

【11月12日(日)】 晴れ

走行距離 34Km

(自転車) 小浜市 → 舞鶴市

走行時間 1時30分

(電車) 舞鶴市 → 敦賀市 → 金沢市 → 前橋市

5:15 起床  
6:10 ビジネスホテル 出る  
25 ウインドブレーカ脱ぐ  
28 出る  
7:01 高浜町 晴れ  
40 東舞鶴駅  
金沢まで ¥3810-  
—— (電車) ——  
56 東舞鶴駅 出る  
9:56 敦賀駅 特急券高崎まで  
10:43 出る ¥4220- ビール¥550-

12:08 金沢駅着  
兼六園へバスで行く  
バス ¥340-  
兼六園 ¥300-  
ダango ¥300-  
昼食 ¥1400-  
みやげ ¥1490-  
15:30 金沢駅 出る 曇り  
¥1690- ビール ¥240-  
20:35 高崎駅 着  
21:40 自宅着

朝練習のつもりで走った34Km。今朝もそれほど寒くはなかった。始めはウインドブレーカを着て走っていたが、すぐに脱いでしまう。

高浜の手前から、鹿児島の開聞岳の様な三角形の山が見えだした。高浜町のすぐ西にある“青葉山(699m)”だった。

軍港の町、舞鶴駅には7時40分に到着。3カ月前の自転車旅行の時に、寝不足と雨の為にリタイアしてしまった舞鶴駅。今回の旅でその穴埋めをする事ができた。駅に着いてすぐに列車時刻の確認をしたら、15分後の7時56分に敦賀行きの電車があり、その後は2時間待たなくてはならない。急いで自転車の分解をする。自転車は、前と後ろのタイヤを外すだけで袋に入れられるタイプなので、発車2分前にはなんとか金沢までの切符を買って、ホームに入る事ができた。

敦賀行きの電車に乗ってすぐに座席の一番前で着替えをした。ちょうど日曜日の早朝の為、乗客が少なく着替えには、好都合だった。目的を達成して、後は電車で帰郷するだけ。車窓から見る景色は、田圃一面の緑。晩秋なのに、稲の切り株から緑の葉が伸びていた。敦賀で乗り換えて金沢駅にお昼に到着。東京行きの特急まで2時間程の間、ゆっくりと兼六園を見に行ってきた。園内の松の一部は、積雪に備えて縄で雪吊りがしてあった。

もうすぐ冬。“あと3カ月以内に日本一周を達成しなくてはならない。”という自己の希望を全うするために、自転車旅行が自分自身で強制される様になってきた。そして、季節の条件も次第に悪くなってきた。





1989/11/11 (土)

東尋坊





1989/11/2(日)

兼六園







1989/11/2 (日)

兼六園

